令和３年度第１回社会教育委員会議事録

日時
　令和３年７月６日（水）　１０：００～１２：００

場所
　四万十町役場東庁舎２階　町民活動支援室

参加者
【社会教育委員】
山本　美知代　金子　仁　　谷口　和史　八木　敏伸　中脇　由美　今西　澄子
本井　ゆき　　宮地　敏朗　坂山　英治
【事務局】
教育長　教育次長　生涯学習課長　味元　佐竹　三浦　森
【文化的施設整備推進室】
政策監　大河原　西尾　松下
【まちづくり推進室】
河原

議題
（１）　令和３年度四万十町教育行政方針について
（２）　令和２年度実績及び、令和３年度社会教育事業計画について
（３）　その他

（谷口委員長）
令和３年度四万十町教育行政方針について

（生涯学習課長）
四万十町教育委員会では、本町の教育大綱である四万十町教育振興基本計画に基づき、四万十町として行うべき「自立」「協働」「創造」の達成に向け、１　社会を生き抜く力の養成として１つ目は新学習要領の実施と学力向上。２つ目はＩＣＴ教育の推進。３つ目として、保幼小中高の持続。４つ目として学校における働き方改革の推進。５つ目として校内研修の実施。６つ目として夢、志を育む学習運営。以上６つの目標を掲げています。
２　未来への飛躍を実現する人材の養成として、ふるさとを愛し高い志をもち地域で活躍できる人材を育成するという目標のもと、１つ目としてふるさと教育等の充実、２つ目として文化的施設の整備、３つ目として持続可能な発展のための教育としてＳＤＧｓの取り組み

４つ目として外国語教室と異文化理解として学校教育ではＡＬＴによる教育や生涯学習課ではＣＩＲによる外国語教室の実施をしています。
３　学びのセーフティネットの構築として、学校教育中心にはなりますが１つ目特別支援教室の推進、２つ目としていじめ等への対応、３つ目として道徳教育、４つ目として人権教育、５つ目として経済的な支援　６つ目とし防災学習と安全対策。というものを掲げています。

４　絆づくりと活力あるコミュニティの形成として、１つ目として学校的制配置、２つ目として地域と共にある学校づくり、コミュニティスクールや地域学校共同本部の活動、３つ目として文化財の保存と活用、４つ目として社会教育団体の育成支援などの目標を掲げています。このような教育行政方針に基づいて本年度の事業を展開していきます。
教育行政方針については以上になります。

（谷口委員長）
教育行政方針について意見や質疑のある方はどうぞ

（中脇）
四万十町らしい素晴らしい内容だと感じています。
直接教育行政方針ではないかもしれませんが、全町的なことでお聞きしますが外来語やカタカナ表記について四万十町で仕様指針などあるのであれば教えていただきたい。
今後、横文字であったりカタカナが多くなるため町として気を付けていることはあるのか。

（生涯学習課長）
特に仕様など町で定めているものはない。横文字を使う場合はわかりやすい言葉にするよう気を付けている。例えば横文字を使う場合は()で注釈を入れるなどしてわかりやすくしている。町としてのこうしていくといった仕様はありません。

（中脇）
ありがとうございます。
ちゃんとした決まりはなくても鳥取県ではそういった仕様を作成している。
将来的は考えた方がよいかもしれません。

（生涯学習課長）
また勉強させていただきます。

（山本）

２番ＳＤＧｓについて、私たちも普段の生活で環境に負担がかからない生活をしている。学校現場で具体的にどのようなことをしているのか教えていただきたい。

（教育長）
本日は影野小学校の校長先生も来ていますが、町内には小中合わせて１６校ありますがＳＤＧｓを全面的に掲げて取り組みをしているのは影野小学校になると思います。持続可能な教育の分野では七里小学校が掲げてやっていますが具体的な学校現場での取り組みは坂山校長にお伺いしてみます。

（坂山校長）
簡単にいうと持続可能は社会というものは３０年ぐらい前からずっとありＳＤＧｓは 2016 年ごろから始まった。要は持続していく社会はなんだというものを子供たちと考え、ＳＤＧｓは 17 の具体的な目標がありそれを日常生活と世界と繋げどうゆう風に考えるか。
例えば 1 番目の貧困をなくそうであったり、２番目の飢餓をなくそうであったり。子供たちには飢餓で苦しんでいる子供たちのビデオを見せて、これが自分たちにどう関わっているかを考えている。賞味期限がきたお弁当を捨てている自分たちはどうなんだ。であったり、ごみを拾うことによって影野もきれいになるし世界もきれいになる。17 項目を記憶するのではなくて持続可能な社会を作っていくために子供たちどうすればよいのかを考えて行動できる教育を行っている。

（今西）
ＣＡＴＶを見て素晴らしい取り組みだと感じた。私の孫も中学生になったがランドセルが不要になっている人々が多いのではないかと感じている。

（坂山校長）
ランドセル、制服など影野小学校に持ってきていただければ、収集などをしている団体へ送ることもできますので持って来てほしい。ぜひよろしくお願いします。

（生涯学習課長）
ＳＤＧｓの庁内の活動について、現在、総合振興計画を見直していますが各項目はどの業務に分類しているのかなど業務に結び付けるような取り組みも実施している。

（谷口委員長）
建設業に従事しているが建設業界でもこのＳＤＧｓを採用して各種取り組みを実施している。具体的には家地川から荷稲に抜ける工事では大きな看板を取り付けながら社会貢献を実施してる。

（谷口委員長）
他に質問がなければ次へ行きます。
令和２年度実績及び、令和３年度社会教育事業計画について

～生涯学習課長から説明を行った～

（谷口委員長）
質問はありますか。

（山本）
文化講座について、令和３年度音楽講座とあるが定期的に何か開催をしているのか。

（味元）
これは今年度京都大学のオーケストラが来町し四万十会館で開催予定でしたがコロナのため中止になりました。
もう一つ高知市内で活躍している団体が来町予定でしたがコロナで中止になりました。
よって今年度の音楽講座は開催できそうにありません。

（山本）
重要文化的景観の３年度事業について曾我神社改修とあるがどこの神社か。

（味元）
小野集落です。

（山本）
成人式について、実行委員会が実施し開催内容を決めていると思うが四万十町の企業紹介などしたら地元の企業に就職したい人も出てくると思うが。

（生涯学習課長）
実行委員会になります。直ちに取り組めるかわかりませんがＤＶＤの作り方含め検討してみる。

（山本）
せっかくの機会なのでぜひ考えてみてほしい。

（生涯学習課長）
ＣＡＴＶにも話をしながら可能ならやってみる。

（坂山校長）
生涯学習、社会教育を考えたときにこれから１００歳時代を迎える。今から私たちとは違う生活スタイルが出てくる。勉強して就職して 60 歳過ぎに余暇を迎える生活ではなくなっている。それに対して学校も考えていかなくてはいけないが社会教育も考えていかないといけない。我々の年代ですが勉強して就職して 60 歳過ぎに余暇ではなくて趣味を生かした仕事ができる環境をつくれたらよいと感じる。
２点目が国際交流について先進国を理解するために英語を勉強しているが、四万十町には中国といった発展途上国の方々が来ているためそういう人たちを理解するための異文化交流が必要になるのではないかと感じる。
３つ目は、学校は社会教育の核になることをすべきと思う。講演会や防災教育をしている。地域の方が学校に来てともに学習できるようにしたらよいと感じる。

（生涯学習課長）
すぐに対応できるかわからないが言ってることは非常によくわかる。セカンドキャリアもこれから大事になってくる。国際理解についても四万十町には英語圏と韓国のＣＩＲがいる。
その方の力を借りながら国際理解を深めていきたい。地域と学校についても、地域学校共同本部の活動がまさにそうだと思う。学校にもよるが地域学校共同本部をうまく使いながら検討していきたい。

（本井）
障害福祉サービスを利用する方を支援しているのですが、保育園の先生たちは保育だけでなく清掃等様々な仕事を行いながら加配の先生と保育の先生が一日中走りまわっている状態になっている。療育福祉センターの付き添いや障害児の学習等を行いたいと思うが十分な時間が取れていないと思う。社会貢献という面で企業を辞めた方のセカンドキャリアとして保育士のサブとして活躍できるような講座ができればよいと思う。ファミサポもあるが人材確保が困難になっている。非課税子育て世帯に対しての補助金や各種講座を展開してほしい。

（味元）
すぐにはできないかもしれないが講座については個別にお話させていただき担当部局が行うのか生涯学習課が行うのかは調整させていただきたい。

（谷口委員長）
ここを網羅している町の予算は見ればわかるが、文化に対してどのくらい確保しているのか。大体で答えてほしい。保育料の滞納について、収入未収金があるがどうゆうふうに処理するか。

（佐竹）
督促を送付したり個別に連絡をしているが、３歳以上は元年１０月から無償化になっていることや児童手当から引き落としができることから以前から比べると随分少なくなっている。５月に締めるため収入未済と今は出てますが現年度はほぼない状態になっている。

（生涯学習課長）
予算についてざっくり申し上げると、社会教育費の中で社会教育総務費は人件費も含めて１億２５００万。保健体育は４０００万あまり、Ｂ＆Ｇには４９００万あまりとしています。施設管理も含めて全体で約２億ぐらいです。

（谷口委員長）
予算を申請する立場として、この金額で希望している事業ができていると感じているか。

（生涯学習課課長）
欲を言えばきりがないがおおむね満足している。

（中脇）
文化講座について昨年度の課題であった参加者年代に偏りがあった。R2 年度については様々な講座を挑戦的にされていると感じた。今年度も参加の機会を増やすことやネット配信を考えてみてはどうか。
わんぱく学校について、毎年参加者が少ないと思うが目標値などあれば教えていただきたい。

（味元）
文化講座についてはおっしゃる通りネット配信等できたらやりたいと考えている。特に歴史講座についてはいろいろな方に聞いていただきたい。今後検討してみる。

わんぱく学校について、予算とスタッフの人員の関係もあり 20～30 名が限界と感じている。７月のわんぱく学校は２０名で募集をかけていたいたが、40 名の応募があった。当日スケジュールを工夫することにより何とか対応はできた。今後もより多くの方が参加できるような工夫も実施したい。

（金子）
自分の子供が小学生になって勉強を一気にやりだしたが、家庭によっては事情によっては勉強ができる環境にない子もおり、子供同士で差がうまれているように感じる。わんぱく学校や青少年の育成事業でも参加する子どもと家庭の事情によって参加しない子供もいる。
何とかしてみんなが参加できる環境にし、子供同士で差がうまれないように取り組んでいただきたい。放課後子供教室で子供たちの様子をみていても子供の性格もわかると思うので連携しながらやってほしい。
補導件数 0 件について、インターネットやＳＮＳの脅威について講習等なるべく早い段階での実施をしたらよいと思う。
成人式について、成年年齢引き上げについて参加対象年齢を早めに公表してあげていただきたい。
郷土資料館の管理運営について、先日初めて訪問したが職員対応等含めてすごく感じたが予算は減っている理由はなぜか。

(味元)
郷土資料館について昨年エアコン工事を行っており、今年は工事がないため減額になっています。

（生涯学習課課長）
小学生について、保育園と小学校の連携は一定実施しているが、手が届いていない部分をあるように感じる。児童の見守りをしっかりしながらサポートしたい。
成人式については早めに方向性を決めて周知を行う。

（谷口委員長）
昨年窪川高校進学の件についてこの場で話し合いを行った。以前 1 桁になっていたというテーマがあったがその後どのようにしているか。

（教育長）
地元高校への進学について、高知県の計画において令和 3 年度 4 年度において 20 名を下回ると統合の検討に入る計画があるが、本年度においては窪川高校 20 名　四万十高校 29 名の入学者を迎えることができました。令和 5 年度までの要件はクリアできたがそれ以前は 14 名しか入学していなかった年もあり反省をふまえ、両高校の校長と私が中学校へ行き地元高校の魅力を伝えるよう教員へお願いをした。子供の数は減ってきているが、地元高校への進学率 5 割を目標にし、県外からの受け入れも行っていきたい。

（坂山校長）
保護者と子供の意識を変えていかないといけない。どこの高校へ行ったのかがステータスになっている。そんなのは通過点であり長い目で見たキャリア教育を実施することが大事だと考えている。市立の学校は良くて田舎の学校は悪いといった変なイメージがあるのでそれを払拭したい。教育委員会だけの問題だけでなく我々一緒になってやらないといけないと感じている。

（谷口）
地元がそういった場面を準備してやれば子供の見方も変わってくる。自分達の建設業では人手不足で大変な状況にある。窪川高校で技師会の講習を行ったが女性数名でしたが、地元にＩＣＴ等を使ったこんな仕事があるのは知らなかったという意見があった。
だから少しでも企業を知ってもらうための取り組みを行わないといけない。

他に意見がなければ、その他に移ります。
文化的施設について説明お願いします

～文化的施設整備推進室から文化的施設の説明～

（谷口委員長）
質問はありませんか。

（宮地）
Ｐ25 ランニングコストについて現状と整備後を比較した場合に整備後の方が 4,200 万円ほど高いがそれについて教えていただきたい。

（西尾）
当町では人材推進育成事業があり、そちらがランニングコストで 9,000 万ぐらいかかっている。文化的施設が目指すところは子供や町民の方々にいろんな情報に触れてほしいのとこれからの時代はまちづくりをする人たちを育てて行きたい思いがある。人材推進育成事業と目的が同じ部分もあるため調整し、コストを一定削減できればと考えている。主な増額は人件費などになる。

（谷口委員長）
時間も限られていますのでこれで終了しますが、私個人の意見ですが非常に楽しみにしています。頑張って良い物を作ってください。

以上で終了します。